

特別研修報告

— ナイロンテグスマグロ延縄漁法技術研修 —

私達は漁業後継者対策事業の一環である特別研修に参加し、改良型マグロ延縄漁法を学んできたので、その概要を報告します。

1. 研修目的

ナイロンテグスを使用した改良型マグロ延縄漁具の製作、及び漁法の研修

2. 研修者

- ① 金城正恭 沖縄市漁協青年部顧問
- ② 安慶名正廣 具志川市漁協青年部長

3. 研修場所

- ① 宮崎県北部改良普及員室
- ② 日向市漁業協同組合

4. 研修期間

昭和61年7月1日～7月7日（7日間）

5. 研修の経過

宮崎県北部改良普及室で改良型マグロ延縄漁法開発に至る経過や漁法改良のポイント等について講義を受けた。

その後、日向市漁協にて研修の方法、日程等について打ち合わせを行なった。

2日から4日目までは漁具の製作修理の実習を行なった。

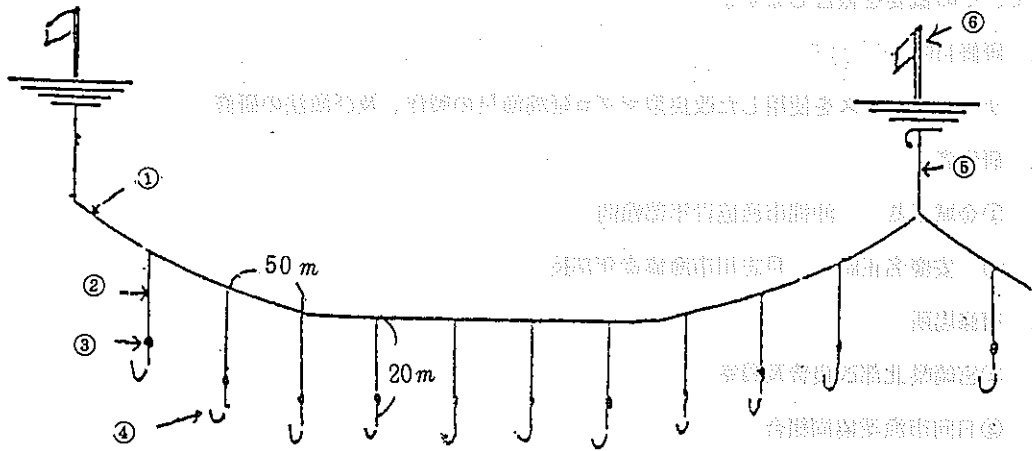
5日目と6日目は沿岸での漁具取扱い乗船実習を実施。（実際の操業はできなかった。）

6. 所感

- ① 餌にはイワシやアジなどの生餌を使用しているが、沖縄では生餌の確保が困難であり、実際、操業する場合は定置網漁業者と餌の確保について協議し、調達しなければならないだろう。
- ② 揚縄は巻上機を使用しているが、ナイロンテグス幹縄はよじれやすく取り扱いに慎重を要するため操業時間が長くなる。
- ③ 漁具の収納はプラスチック製の籠を使用していて小型船では場所をとる。ドラムによる巻き取り式も考えられる。
- ④ 幹縄と枝縄の結節部分はクレモナが使用されているが、透明度の高い沖縄では全部ナイロンテグスにしたほうが釣獲率は良いと思われる。

⑥この漁具を沿岸の底延縄に応用してみたい。

最後にこの研修の機会を与えて下さった水産業改良普及所と研修を指導して下さい宮崎県の大江専技、日向市漁協のみなさんへ心より感謝致します。



番号	名称	材質	規格、寸法
①	幹縄	ナイロン	90~120号
②	枝縄	ナイロン	90~120号
③	おもり	鉛	2~3斤
④	釣ばり		土佐啓作2寸
⑤	浮標縄	クレモナ	1.0ひろ
⑥	ボンデン		

資料 大江専技

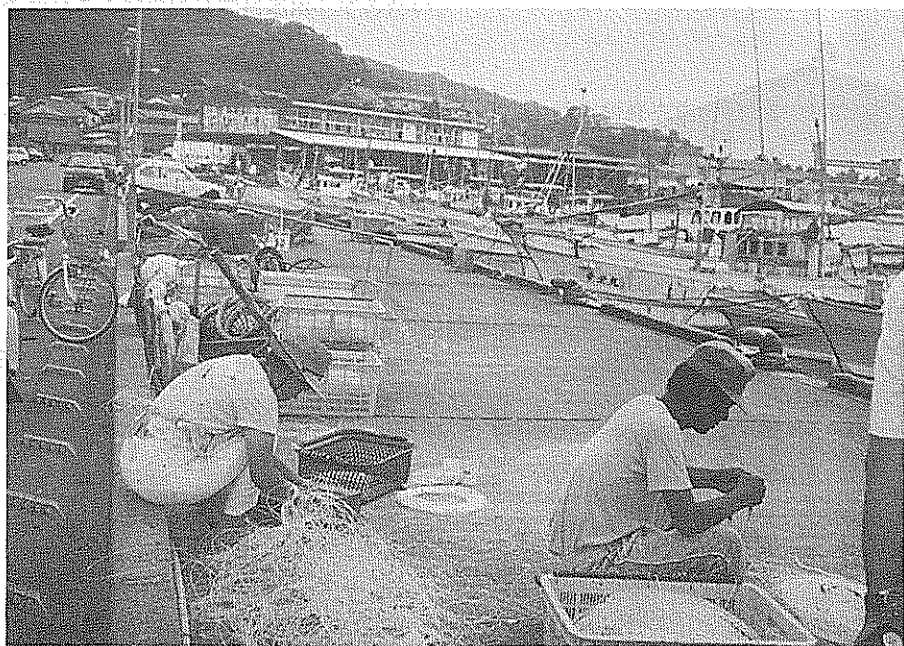
図-1 漁具図



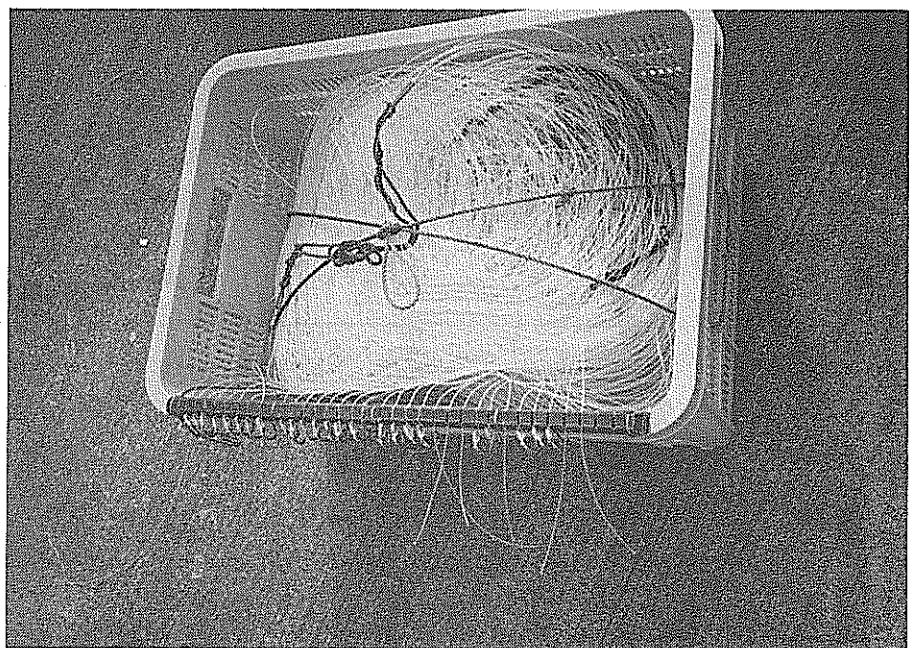
研修場所の日向市漁協



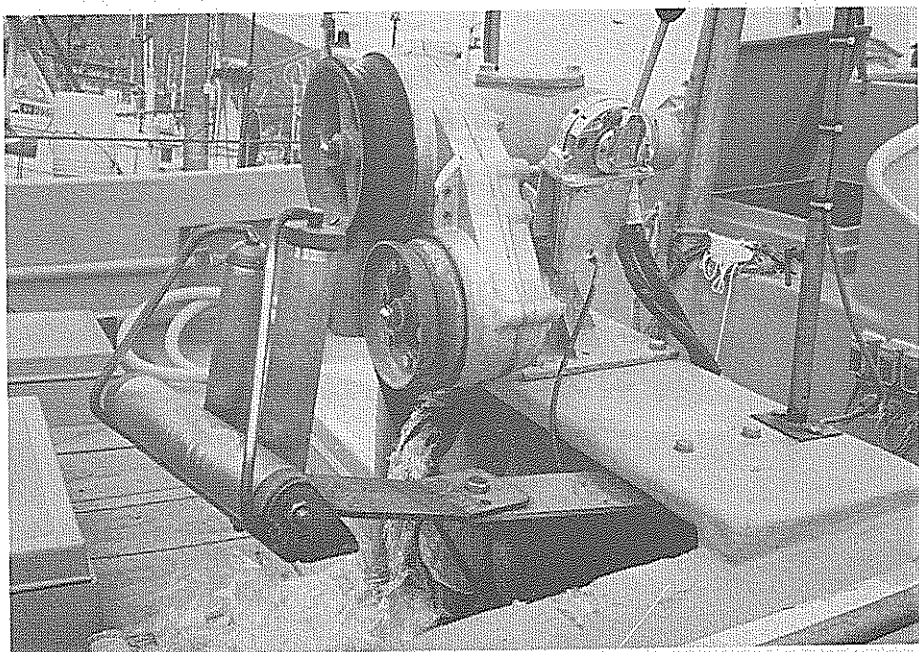
漁具製作指導をした青年部の皆さん



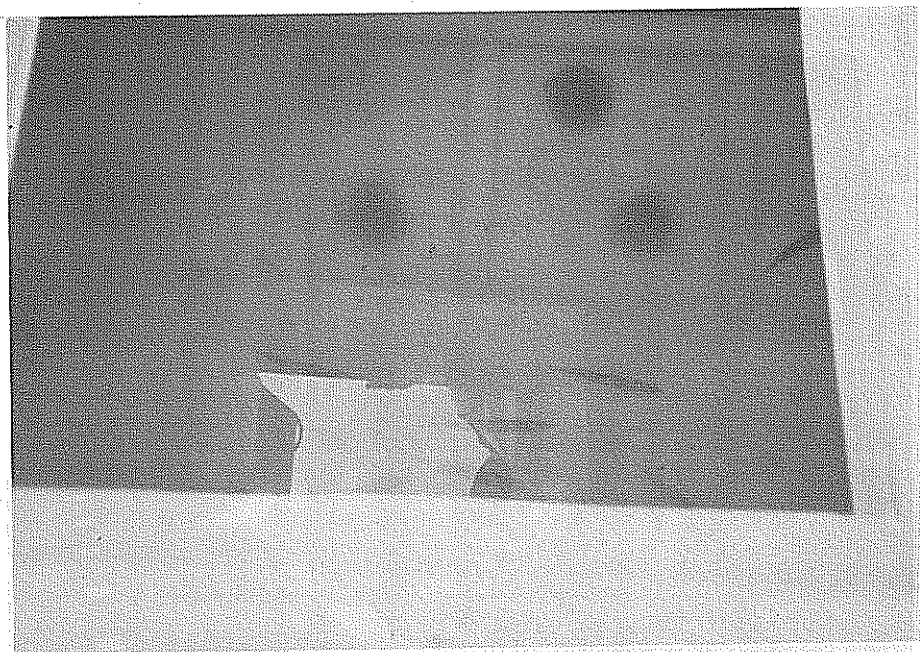
漁具の製作実習状況



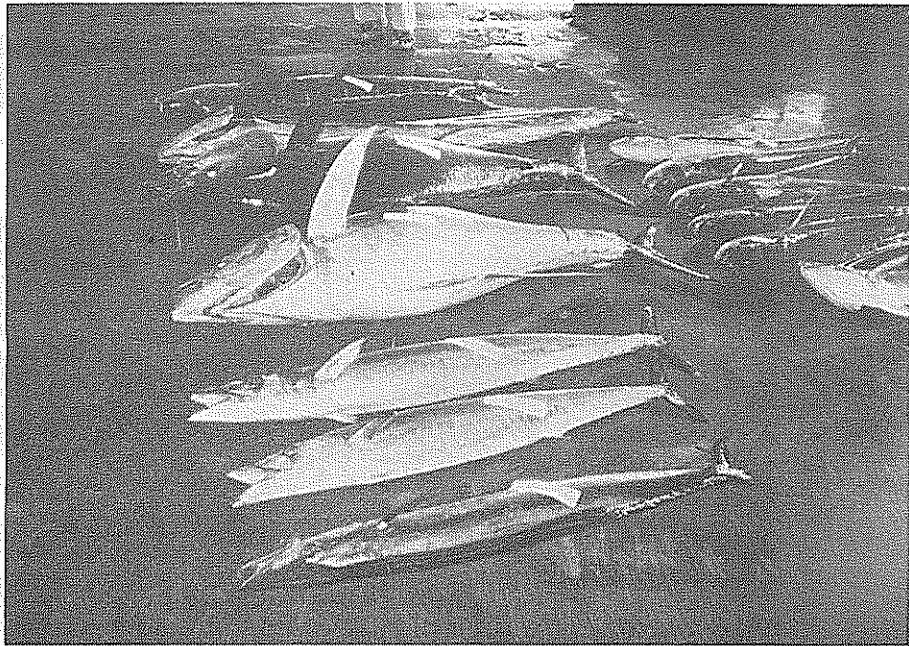
プラスチック製の籠に収納した漁具



ロスマボが 卷上に使用する卷上機械



流巻機を生す中のアジコ等



ナイロンテグス延縄で漁獲されたマグロ



研修に参加した金城氏と安慶名氏